

3 自然動態

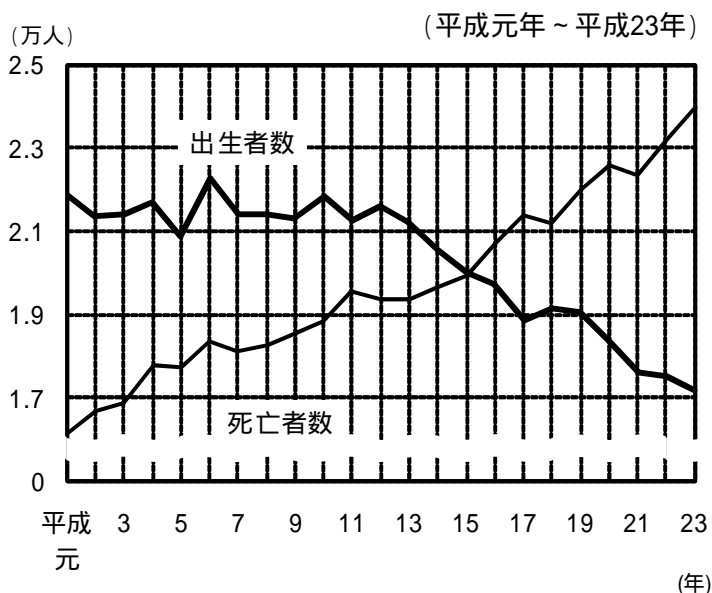
自然増減数 6,785人 自然増減率 0.32%

平成 23 年中の自然動態は、出生者数が 17,192 人で、前年に比べ 324 人減少し、死亡者数は 23,977 人で、前年に比べ 801 人増加しました。

自然増減数は 6,785 人(男性 3,202 人、女性 3,583 人)で、前年(5,660 人)に比べ 1,125 人減少し、自然増減率は 0.32%で前年に比べ 0.06 ポイント下回っています。

自然動態の推移についてみると、死亡者数は、傾向としては緩やかに増加しています。また、出生者数は、平成 13 年以降減少傾向に転じています。平成 16 年には、自然動態が統計のある明治 32 年以降終戦の年を除き初めて減少に転じ、平成 23 年も同様に減少したため、8 年連続で自然動態減となっています。(図7)

図7 自然動態の推移

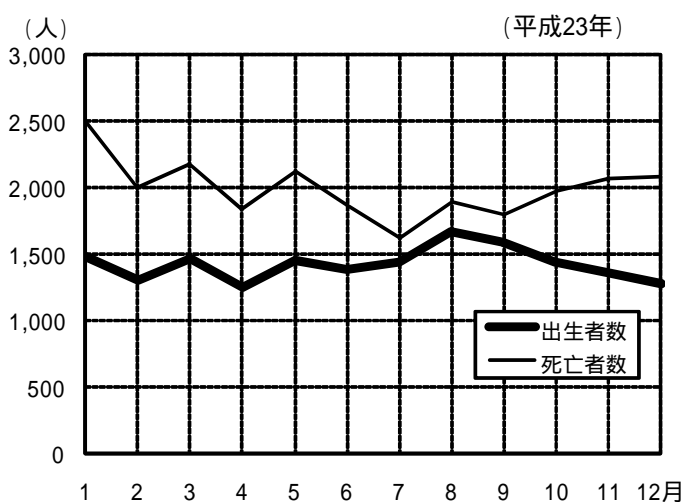


全ての月で死亡者数が出生者数を上回る

自然動態を各月でみると、出生者数が最も多いのは、8 月の 1,668 人で、以下 9 月(1,559 人)、1 月(1,482 人)の順となっています。

また、死亡者数が最も多いのは、1 月の 2,510 人で、以下 3 月(2,177 人)、5 月(2,122 人)の順となっています。(図8)

図8 月別自然動態



2村で自然増、75市町村で自然減

自然動態を市町村別でみると、2 村で自然増、75 市町村で自然減となっています。

自然増減率が最も高いのは、宮田村の 0.31%で、以下 南箕輪村 0.22%、松本市 0.01%の順となっています。逆に最も低いのは、天龍村の 2.55%で、以下 栄村 2.12%、麻績村 1.97%の順となっています。(5 ページ 表1)